

子育て支援コーナー

なかよし保育園子育て支援センター

★親子教室 (☎96-4551・FAX 22-9881)

- 1歳6カ月～2歳5カ月 4日(火)・11日(火)
- 2歳6カ月以上 25日(火)

★すくすく赤ちゃん

- ネンネ・寝返りグループ 6日(木)・13日(木)
- ハイハイ・ヨチヨチグループ 20日(木)・27日(木)

★マタニティおしゃべり広場 3日(月)

★ツインズデー 21日(金)

双子以上のお子さんを育てている方、交流と情報交換しませんか？
いずれも午前10時～11時30分 費用無料、申し込み不要。

★料理教室 18日(火)

- 幼児のおやつ 定員5名 要予約 午前10時～11時30分 託児なし

市子育て支援センター

(はまなす保育所内 ☎FAX 24-1260)

★あそびの広場

- 0歳～1歳半 14日(金)・28日(金)
- 1歳半～2歳 7日(金)・21日(木)
- 2歳～2歳半 12日(水)・26日(水)
- 2歳半～3歳 5日(水)・19日(水)
- 3歳～3歳半 11日(火)・25日(火)
- 3歳半以上 4日(火)・18日(火)

いずれも午前10時～11時 費用無料、申し込み不要。

(受付時間は午前9時30分～9時50分)

河北子育て支援センター

(飯野川保育所内 ☎61-1601・FAX 62-2359)

★あそびの広場

スポーツの秋です。お子さんと一緒に体を動かして遊んでみませんか。(利用時間は、午前10時～11時30分)

<今月の予定>

- 13日(木) すこやか親子クッキング(要参加申し込み)
- 19日(水) 散歩

※子育てについての悩み・相談は、電話でも受け付けています。

お気軽にご利用ください。

月曜日～金曜日 午前9時30分～12時 午後1時～5時
土曜日 午前9時30分～12時

地域に出向いています

★子育て広場 <今月の予定>

4日(火) 中野・牧野・皿貝・馬鞍(中野林業センター)
14日(金) 五十五人・鶴家(鶴家公民館)

18日(火) 沢田崎山・後谷地・川の上(後谷地老人憩の家)
21日(金) 吉野・岩崎・飯野本地・飯野新田(本地老人憩の家)
25日(火) 飯野川町区(子育て支援センター)
以上の地区にうかがいますので多くの方の参加をお待ちしています。

雄勝地区子育て支援(雄勝総合支所保健福祉課 ☎57-3611)

★母子センター開放日

10月17日(月) 午前10時～11時30分

「小麦粉粘土を使って遊ぼう!」

※汚れてもいい服装で来てね。参加費無料

お母さん同士お友達同士の交流の場です。お気軽にご参加ください!

河南子育て支援センターパプラ(☎FAX 72-4670)

★わいわいサロン

(2名の指導員と親子で遊びましょう。申し込みは不要です。)

農村環境改善センター 2階(パプラ)午前9時30分～11時30分

- 0,1歳親子 11日(火)・18日(火)・25日(火)

- 2歳以上親子 13日(木)・20日(木)・27日(木)

親子の上靴・おやつ着替えなどをお持ちください。

★でんわ相談・来所相談……ひとりで悩まないで!



桃生地区子育て支援(桃生保健センター ☎76-3360)

★遊びの広場

- 桃生保健センター 5日(水)、12日(水)、26日(水)

- 桃生文化交流会館(☎76-3418)

1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土)、29日(土)

※いずれも午前9時30分からです。

※参加申し込みが必要ですので、桃生保健センターへご連絡ください。

★親と子の遊びの広場出前事業

とき 4日(火)午前9時30分～

ところ 永井いきいき交流センター

※参加申し込みが必要ですので、桃生保健センターまでご連絡ください。

★子育て電話相談(桃生保健センター ☎76-3360)

とき 3日(月) 対象者 どなたでもご相談できます。

相談内容 子育てに関すること

北上地区子育て支援

(北上保健センター ☎67-2301)

★ひまわりキッズ 7日(金) 午前10時～11時30分

★ひまわりキッズフリー 26日(水) 午前10時～11時30分

かなん子育てサークル

『はねはねフェスティバル』

とき 11月3日(木) 午前10時～正午

ところ 農村環境改善センター《多目的ホール》

河南地区の6サークルが主催する秋まつりです。ゲームや遊園地、だがし屋、パン・ジュース屋、フリーマーケット、お楽しみ抽選会等があります。どうぞ、ご家族やご近所のみなさんお誘いあわせの上お越しください。お子さんと一緒に楽しい思い出を作りましょう!

※持ってくるもの…買い物袋・上靴・小銭など

☎ 河南子育て支援センターパプラ (☎72-4670)

保育所食育展

～食べるのだいすき!～



保育所で取り組んでいる「食育」の様子を紹介します。お友達と一緒に遊びに来てください。

とき 10月30日(日) 午前10時～午後3時

ところ 石巻市立はまなす保育所

内容

- 展示コーナー 畑づくりやクッキング、作品の紹介をしま～す。
- 遊びコーナー みんなでフクフク遊んじゃおう!
- 給食コーナー おいしいおやつの試食もあるよ!

☎ 子ども家庭課 (内線425)

表紙から

桃生地区の一大イベント「ものうふれあい祭」。9月10日に植立山公園で開催されました。祭りのメインイベント「はねこ踊りパレード」には、約1,000人の踊り手が参加。踊り手の色鮮やかな衣装が、明かりに照らされる幻想的な雰囲気を作りました。囃子の音が鳴り始めると会場内は一気にヒートアップ。躍動感溢れるダイナミックな踊りに、来場者からは大きな拍手と歓声が自然と沸きあがりました。(左)

編集後記

「市報になったら表紙がカラーになって良かったね」と良く言われます。「見たい・読みたい」という気持ちにさせるには、表紙が重要な要素であることを再認識させられます。酷評も耳にしますが、いろいろな意見を参考にし親しまれる市報にしたいと思っています。(右)

石巻市の人口と世帯数

平成17年10月1日現在 ()内は昨年同月比			
82,592人(-955人)	88,147人(-761人)		
170,739人(-1,716人)	59,048世帯(+279世帯)		

〔文化財たんぽう〕

⑦

牡鹿の「島」の文化財

石巻市文化財保護委員 渡邊 久夫

今、島々を訪れる多くの人々の中には、散策がてら、遺跡めぐりをする方が増えてきています。このような中で、島にも、祖先から受け継がれてきた貴重な文化遺産が、数多く存在しています。

網地島には、貴重な植物が群生しており、島全体が天然記念物であるとも言われています。

島の集落の一つ、網地浜の常春寺には、鎌倉時代の秀作と伝えられる宮城県指定の重要文化財「木造聖観音菩薩立像」が安置されています。自然の美しさの中で、先人が生活の中から造り出した文化財で、檜材の寄木造りであり、高さは八〇センチメートルほど、前面は一本で、背面には別木を彫って当てています。

ここから五分ほど歩くと、丘の中腹に網地島遺跡があり、縄文時代の土器片が採集されています。昭和四〇年代に乱掘され、今では直接見ることはできませんが、数年前までは、地元の児童・生徒の学習の場となっておりました。

この場所とは反対側の、島の突端に、もう一つの集落「長渡浜」があり、そこには、奈良時代からと言われる「網地製塩遺跡」があります。

外洋より打ち寄せる波で、赤く焦げた岩石など、海食が著しく進み、また、浮遊物等が打ち寄せられ、近い将来、遺跡が消滅するのでは……と、心配されています。この遺跡から出土した須恵器の破片は、石巻市(旧河南町)須江関ノ入遺跡のものに似ていると言われます。

また、島の中心地で、民家の工事中に発見された経筒は、現在、石巻市教育委員会の牡鹿事務所に、石巻市指定文化財として保管されています。

これらの他にも、「浪入田」という地域があります。意味をどうしても知りたくなるような地名です。ここは、藩政時代、伊達政宗の命で、金を採掘した跡地があります。

網地島の向かい側にある、田代島(旧石巻市)には、縄文時代中期の「仁斗田貝塚」があり、

出土した貝が「アワビ」や「サザエ」など、岩礁性の貝を主体としており、当時の漁労生活を知るうえで数少ない貝塚と言われ、宮城県指定文化財となっています。

一方、原生林が生い茂る金華山島に渡ると、天平(奈良時代)以来の歴史を持つ、黄金山神社が見えてきます。かつては、恐山、出羽三山とともに奥州三霊場として信仰されたところで、明治以前は女人禁制の神社でした。さらに、島の西側の、外洋を望む、港より五〇メートルのところには金華山貝塚があります。ここには、昭和三一年頃にホテルが建っていました。縄文時代早・晩期の土器や石器、石槍等が出土していました。現在、ホテルは廃屋となっています。もう一つは、金華山遺跡です。

ここは、金華山の西側の瀬戸(狭い海峡)に近い所にあり、範囲が広く、近くに鹿の角切場があり、観光客が多く訪れる所です。出土品としては、縄文時代前期のものと言われる深鉢形の平底の土器があります。

宮城県には、全国でも有数の板碑があるとされています。島々には、他にも文化財が多々ありますが、中でも板碑が数多く散在しています。

牡鹿半島に、そうした先人の歴史の道を辿りながら訪れるのも、また、意義のあることだと思います。



常春寺



▼金華山遺跡(遠景)

▲網地製塩遺跡



「北上残暑」

フォトな一枚④



鈴木 哲雄さん
(鹿又新田町)

生まれも育ちも鹿又の私にとって、北上川はふるさとの象徴であり、多感な少年期の思い出をたくさんつくることのできた宝です。

今は、朝夕の2回、北上川の清流を眺めながら堤防の遊歩道を散歩するのが日課です。時には、愛用のカメラで気に入った風景を撮影しています。この写真は、遊びに夢中になり夕暮れの中家路を急いだ少年時代の思い出が蘇る光景だったので、思わずシャッターを切った一枚です。北上川の夕暮れに釣り人を配し、光の美しさを表現できませんでした。これから、北上川を撮り続けていきたいです。

